

第 53 回日本原子力学会バックエンド部会全体会議 議事録

日時:令和 2 年 9 月 16 日(水)12:10～12:50

会場:オンライン開催 日本原子力学会「2020 年秋の大会」B 会場 (Zoom ルーム 2)

議事内容

1. 杉山部会長挨拶

2. 令和 2 年度活動中間報告

2.1 企画報告

2.1.1 企画 A

①大会・年会における企画セッション

・2020 年秋の大会

バックエンド部会主催の企画セッションとして「福島第一原子力発電所の廃炉に伴って発生する廃棄物の現状と今後一将来を見据えた取り組みと課題発見」をこの全体会議のすぐ後に開催することを報告した。プログラムは以下の通り。

・1 日目:9 月 16 日(水)13:00-14:30 座長:杉山 大輔(電中研) バックエンド部会 企画セッション 「福島第一原子力発電所の廃炉に伴って発生する廃棄物の現状と今後一将来を見据えた取り組みと課題発見」		
(1) 福島第一原子力発電所廃炉における廃棄物の現状と将来	(NDF)	加藤 和之
(2) 福島第一原子力発電所廃炉に関する研究開発動向	(三菱総研)	松本 昌昭
(3) 固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発	(IRID)	吉川 英樹
(4) パネルディスカッション: 福島第一原子力発電所の廃炉に向けたチャレンジ～全体工程と固体廃棄物の取り扱い～	パネリスト: (三菱総研)	松本 昌昭
	(NDF)	加藤 和之
	(JAEA)	駒 義和
	(北大)	小崎 完
	(原安協)	朽山 修
	(東電)	七田 直樹

・2021 年春の年会

2021 年 3 月 17 日(水)～19 日(金)に早稲田大学で開催される 2021 年春の年会での企画セッションについて、企画のアイデア・希望を運営委員まで連絡するよう依頼した。

②プログラム編成

2020 年秋の大会のプログラム編成について、以下の編成委員のご尽力を得たことを報告した。

コード	専門分野	WG リーダー	WG メンバー
505-1	放射性廃棄物処理	金山 文彦(JAEA)	千田 太詩(東北大) 小林 大志(京大)
505-2	放射性廃棄物処分と環境	三枝 博光(NUMO)	櫻木 智史(原環センター) 中山 雅(JAEA)
505-3	原子力施設の廃止措置技術	手塚 将志(JAEA)	川崎 大介(福井大) 近藤 陽太(日立 GE)

2.1.2 企画 B

第 36 回バックエンド夏期セミナーの開催実績を報告した。

- ・日 時:2020 年 8 月 26 日(水)
- ・場 所:オンライン開催
- ・参加者: 142 名
- ・テーマ:新型コロナに負けない!バックエンドの実現にむけた新たな取り組み
- ・講演:4 件
 - ー 岡山大 佐藤治夫准教授
 - ー 神戸大 飯塚敦教授
 - ー JAEA 戸澤克弘様
 - ー 原子力規制庁 前田敏克様、菅生智様
- ・ポスターセッション:10 件
 - ー ポスター、ショートプレゼンテーション、オンデマンド配信による質疑応答の内容について、優秀なポスター発表を表彰。本会議の最後に表彰式を実施。
- ・講演資料は部会ホームページ(夏期セミナー)に掲載予定
- ・講演再録, セミナー参加記が部会誌次号に掲載される予定
- ・夏期セミナー参加者へのアンケート結果を報告した。オンライン会議するにあたり, 講演やポスター発表の質疑等のオンデマンド配信利用等は概ね評価いただくとともに, オンライン開催のメリット, 課題について今後参考となる多くの意見をいただいた。アンケート結果を基に来年度のセミナーについて(オンライン開催の実施, 内容, 現地開催の場合の開催場所)検討する。

2.1.3 企画 C

ポジション・ステートメント WG(PSWG)について報告した。

PSWG (Position Statements WG)

- ポジション・ステートメント WG(PSWG)は、日本原子力学会が発信するポジション・ステートメント(PS)について、その必要性、妥当性等について検討し、広報情報委員会に提案する役割を担っている。企画 C の担当者がバックエンド部会の代表として、PSWG 員として活動している。
- クリアランス【解説】:
 - PSWG のコメントに対応し、改訂版(rev7)を PSWG に上程(2019.7月)
 - 広報情報委員会で審議、了承。HP に掲載済。
 - 原子力学会秋の大会にて、学生連絡会の協力のもと、ポスターセッションにて解説予定 (Zoom での発表)。
- 廃棄物埋設の放射線防護に関する国際的な考え方について【解説】:
 - PSWG に上程(2018.7 月)
 - 分かり易さの観点からコメントを受け、BE 部会小委にて改訂。PSWG に上程済。
- 高レベル放射性廃棄物の地層処分、ガラス固化体の性能:NUMO の包括的技術報告書が公開された後に修正に着手する予定としており、今後の進め方について部会内で協議中。

※企画 A~C からの活動報告は、会場の出席者より承認された。質疑事項は特になし。

2.2 広報報告

部会 HP 小委員会活動, R2 年度週末基礎講座の開催概要について報告した。

①R2年度部会 HP 小委員会活動について

(1) 部会ホームページの管理・運用 ([http:// nuce.aesj.or.jp](http://nuce.aesj.or.jp))

- お知らせ・会議案内 : 夏期セミナー開催案内掲載
- 部会誌「原子力バックエンド研究」記事・論文等の公開
- 2019 年度バックエンド部会活動報告・部会表彰の選定結果の掲載
- 部会長挨拶・部会長便りの掲載

(2) バックエンド部会情報メールサービス(メーリングリストによる情報連絡)

配信実績 : R2 年度 7 件(3/11~9/7), 配信宛先数 : 448 件(R2/9/7 現在)

お知らせ と お願い

メールの配信開始/停止, アドレスの変更は部会員の皆さまからの申告によって行っています。

配信エラーが続くと自動的に配信停止となります。

アドレスの変更があった方, メール配信を希望される方は, 広報担当までお知らせください。

e-mail : info@nuce.aesj.or.jp (部会ホームページをご覧ください。)

(3) ホームページ小委員会メンバーの紹介

氏名	所属	来歴	役割
山口 正秋	原子力機構	広報委員(2019~)	HP 更新, メール配信等の窓口, 運営小委員会との連絡調整
榊原 哲朗	原子力機構	広報委員(2020~)	同上
佐々木 隆之	京都大学		運営全体の俯瞰, 企画・提案
笹川 剛	原子力機構		部会情報メール メーリングリスト管理, メール配信
佐原 聡	原環センター		HP サーバー運用・管理(主担当)
平野 史生	原子力機構		HP サーバー運用・管理

②R2 年度週末基礎講座

・開催目的・趣旨

- 放射性廃棄物の処理処分などの原子力に関するバックエンド分野の基礎的な知識を身につけていただくことを目的として開催いたします。
また, 参加者相互の交流の機会を提供するものです。
- 当分野に興味をお持ちの学生の皆さまや, 新たに業務や研究に携わる方々だけでなく, すでにこの分野でご活躍の方々に, 改めて関連する知識を確認されたい方など, 広くご参加いただけます。
- 本年度はオンラインで開催致します。新型コロナウイルスの拡大による社会情勢の変化に対応した, バックエンド部会としての新たな試みとして実施するものです。

・日 程: 令和 2 年 11 月 13 日(金) 9:00 頃~17:00 頃

・場 所: オンライン開催(Zoom ミーティング)

・参加費: 未定(オンライン開催となるため夏期セミナーと同程度の低価格を想定しています)

夏期セミナー 正会員 1,000 円(不課税), 非会員 2,000 円(税込)、学生無料
 ※広報からの活動報告は、会場の出席者より承認された。質疑事項は特になし。

2.3 出版報告

出版小委員会体制の見直し、部会誌「原子力バックエンド研究」の発行状況について報告した。

①小委員会体制の見直し

○昨年度と同規模の体制(16名)、手順書で役割分担・実施内容を明確に

担当	仕事概要	2020 年度担当者
編集長	全体の工程管理	小林大志 (京都大)
副編集長	査読付き論文ハンドリング	鷹尾康一郎 (東工大)
委員長	全体の取り回し、運営小委・学会事務局との連絡	千々松正和 (安藤ハザマ)
	査読なし原稿ハンドリング	
副委員長	委員長補佐+工程管理補助	湊大輔 (電中研)
出版幹事	原稿 (査読あり原稿は査読終了後、査読なし原稿は受領後) の	関口高志 (戸田建設)
	フォロー	中田弘太郎 (電中研)
編集幹事	レイアウトを統括	北城諒一 (日本原燃)
レイアウト	レイアウトの実施、原稿のレイアウト確認	西尾光 (NUMO)
		持田泰孝 (JANUS)
		中島均 (清水建設)
		関口博司 (IHI)
CD 化 J Stage	CD 化、J-Stage、会計を統括	石寺孝充 (JAEA)
	論文の CD 化	山田文香 (RWMC)
	査読付き論文等の J-stage への登録	邊見光 (JAEA)
会計	支出、収入の会計処理	清水洋平 (ダイヤ)
HP	HP 関連	古川静枝 (電中研)

②部会誌の発行

部会誌「原子力バックエンド研究」 Vol.27 No.1 (2020 年 6 月)

→ホームページにて公開中、論文は J-Stage に公開

No2 を併せて年末に CD を作成・配布の予定

< 巻頭言 >

・ポスト・コロナ社会におけるバックエンド部会 小崎完

< 研究論文 >

・硝酸イオン化学的変遷挙動評価モデルの施肥由来硝酸性窒素汚染事例への適用 阿部徹, 平野史生, 三原守弘, 本田明

・塩水条件での緩衝材の力学挙動に対する弾塑性構成モデルの適用性に関する研究 高山裕介, 菊池広人

< 総説 >

・放射性廃棄物の処分分野における地下水モニタリングの方法 村上裕晃, 岩月輝希, 竹内竜史, 西山成哲

<特集;2019 年度バックエンド週末基礎講座>

会議参加記

・「2019 年度バックエンド週末基礎講座」参加報告 大平早希
講演再録

・地層処分の工学技術および性能評価研究 平野史生

・低レベル放射性廃棄物処分に関する状況 瀬間義大

<講演再録(第 35 回「バックエンド」夏期セミナー)>

・六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設施設の現況 宮内善浩

<講演再録(日本原子力学会 2019 年秋の大会)>

・解体事例に基づく核燃料サイクル施設の解体項目別費用と DECOST による見積り結果との比較
高橋信雄, 黒澤卓也, 目黒義弘

<会告>

令和元年度バックエンド部会表彰/バックエンド部会 関連行事予定

③部会員の皆様へのお願い

- ・積極的な投稿/寄稿 (情報発信の場としての活用)
概ね 40 歳までの研究者・学生の論文は、論文賞のみならず奨励賞の対象となります。
- ・査読へのご協力
- ・特集テーマのご提案
- ・論文の投稿または部会誌へのご意見/ご要望等は下記メールへ

journal@nuce.aesj.or.jp

<http://nuce.aesj.or.jp/journal:info> で部会誌のご案内

※出版からの活動報告は、会場の出席者より承認された。質疑事項は特になし。

2.4 庶務報告

海外発表助成制度、研究会支援制度、優秀講演賞について報告した。

①海外発表助成制度

- ・若手研究者の海外発表に関する渡航滞在費を助成
- ・半期あたり原則 1 名を対象に 13.5 万円を限度に助成
- ・詳しくは部会ホームページに掲載の募集要領を参照

・2019 年度実績

上期分(2月10日締切) 応募なし

下期分(8月10日締切) 応募なし

・2020 年度実績

上期分(2月10日締切) 応募なし

下期分(8月10日締切) 応募なし

②研究会支援制度

- ・部会員から研究テーマを公募して研究会を設置
- ・研究会の費用を年間 13.5 万円までを目安に支給

- ・会期は最長3年とし、適宜成果を取りまとめて発表
- ・詳しくは部会ホームページに掲載の募集要領を参照
- ・2019年度実績:応募なし
- ・2020年度実績:8月末時点で応募なし

③優秀講演賞

- ・学生会員対象とした学生優秀講演賞を設置（2017年秋の大会より）

【目的】 学生会員のモチベーション向上により、新規学生会員の獲得と卒業後の継続加入の確保、バックエンド部会をはじめとした原子力学会の底上げを図る。

学生会員 → 学生優秀講演賞を1名選出

正会員他 → 優秀講演賞を1名選出

	バックエンド対象講演数*	内,学生会員 講演数
2020年 秋の大会	99	15
2020年 春の年会		
2019年 秋の大会	152	34
2019年 春の年会	97	26

※)「放射性廃棄物」,「廃炉(廃止措置)」,「地層処分」のいずれかのワードを含む一般セッションにおける発表

- ・各座長の採点結果に基づき、本大会における学生優秀講演賞、優秀講演賞を選出

⇒ 2020年春の年会は中止のため選出なし

2021年春の年会の全体会議において表彰

※庶務からの活動報告は、会場の出席者より承認された。質疑事項は特になし。

2.5 会計報告

① 通常予算

通常予算収支(8月度実績値)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
受取掲載料	182,380	旅費交通費	0
受取配分金	367,000	通信運搬費	5,610
		消耗品費	0
		一般外注経費	24,640
		雑費	330
		支払助成金	0
<小計>	549,380		30,580
<当初予算額>	617,000		874,000
<執行率>	89%		3%
<収支>			518,800

円

- ✓ 収入の部:上期分の収入については、ほぼ計画通り。
- ✓ 支出の部:主に部会HP用レンタルサーバー代、出版小委の活動費
- ✓ 上期(4月~9月)について、今後の支出予定を考慮しても、上期の支出計画額23万円を

2.7 第36回バックエンド夏期セミナー ポスター賞の発表

第36回バックエンド部会夏期セミナーのポスター賞の受賞者を発表し、表彰した。ポスター賞の中林殿、学生優秀ポスター賞の頓名殿からそれぞれ受賞の挨拶を頂いた。

受賞者(敬称略)	表 題
バックエンド部会 ポスター賞 電力中央研究所 中林 亮	「低酸素環境下でSUS316L粉末から浸出するC-12化学種の生成機構」
バックエンド部会 学生優秀ポスター賞 京都大学 頓名 龍太郎	「模擬核分裂生成物を含む二酸化ウランの溶解に及ぼす炭酸影響」

以上